

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

ポピンズナーサリースクールセンター南

横浜市都筑区茅ヶ崎中央 40-3

運営主体：株式会社ポピンズ

| | |
|---------------------|-----------|
| ● 実施概要 | 1 ページ |
| ● 総合評価（評価結果についての講評） | 2～3 ページ |
| ● 評価領域ごとの特記事項 | 4～5 ページ |
| ● 分類別評価結果 | 6～17 ページ |
| ● 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 18～24 ページ |
| ● 利用者本人調査分析 | 25～26 ページ |
| ● 事業者コメント | 27 ページ |

公表日：2012年11月21日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

| | | | |
|-----------------|-------------------------|----------|------|
| 事業所名 | ポピンズナーサリースクールセンター南（保育所） | | |
| 事業所への 報告書提出日 | 2012年10月23日 | 評価に要した期間 | 5ヶ月間 |
| 評価機関 | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま | | |

■評価方法

| | |
|--|--|
| 1、自己評価 実施期間 2012年5月21日～2012年7月20日 | ① スタッフミーティング時に趣旨などを説明し、自己評価票に、常勤・非常勤職員各個人が記入した。 ② 各個人が記入したものをとに、週案ミーティングの時に、クラスリーダー、主任、施設長が各項目を1つずつ確認していった。 ③ ②をもとに、主任と施設長が話し合い、まとめた。 |
| 2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2012年7月2日～2012年7月17日 | ① 全園児の保護者（40世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。 |
| 3、訪問実地調査 実施日：第1日 2012年8月20日 第2日 2012年8月23日 | [第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：非常勤職員1名に面接調査。書類調査。園長・主任に面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：2歳児および幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士5名、栄養士1名に個別に面接調査。その後、園長・主任に面接調査。午後の園外散歩に同行し、保育観察。 最後に意見交換を行い、終了。 |
| 4、利用者本人調査 実施日：第1日 2012年8月20日 第2日 2012年8月23日 | ① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。 |

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

ポピンズナーサリースクールセンター南は、横浜市営地下鉄「センター南」駅から徒歩約5分、高層マンション・ビジネスビルなどが立ち並ぶ街区の中の、9階建てシニアレジデンス（高齢者住宅）の1階にあり、2010年（平成22年）4月、株式会社ポピンズにより開設されました。同社は、首都圏を中心に約100園の保育関連施設のほか、ベビーシッターサービス、高齢者在宅ケアサービスなどの事業を行って、本園のほか2つの保育園を横浜市内（港北区、中区）に設置しています。

本園の施設は、保育室・ダイニングルーム・アトリエ（美術・制作室）・調理室・事務室などから成り、2～5歳児の保育室は仕切りの無いオープンスペースとなっています。園庭はありませんが、道路を隔てて、小高い丘や池などのある樹木に囲まれた広大な都筑中央公園があり、子どもたちの散歩や遊び場として利用されています。

定員は50名（0～5歳児・産休明け保育あり）、開園時間は、平日7時～20時、土曜日7時～16時です。なお、0～3歳児は年齢ごとのクラス編成ですが、4・5歳児は合同のクラスとなっています。

ポピンズナーサリースクールセンター南の理念として、「エデュケア（*）プログラムの実践に基づき、一人ひとりの才能と個性を伸ばし、人間性豊かで創造性に富む人間を育成する」を掲げています。理念に基づき、教育方針を「わたしたちは人生でもっとも重要な時期のお子さまたちに真の人間教育をいたします。1.寛容な人間 2.聡明で愛情深い人間 3.独立心旺盛な人間 4.インターナショナルな舞台で活躍できる人間」と定めています。

（*）エデュケアとは、エデュケーション（教育）とケア（保育）を組み合わせた言葉です。理念に基づき、保育方針ではなく、教育方針としています。

◆ 高く評価できる点

1、子どもたちは、明るく元気よく遊びながら、さまざまなことを学んでいます。

晴れた日にはほとんど、近隣の公園に出かけたり、商店街を散歩したりしています。公園では、蝉、トンボ、トカゲ、バッタなど小さな生物を見つけて子どもたちは喜んでいきます。急な斜面になったところを登るのが楽しそうで、ずるずるとすべり落ちて土まみれになりながらも何度も挑戦する子どももいます。子どもたちは、公園の中のさまざまな樹木を、四季を通じて観察し、変化を楽しんでいます。保育室内ではメダカや昆虫の飼育をし、観察記録をつけ、子どもたちが、散歩コースにあるホームセンターのメダカの飼育に詳しい店員に教えてもらいに行くこともあります。

絵かきや製作の時間では、始める前に保育士がクイズ形式で「○色のものは、なーに？」など問いかけ、子どもたちは大きな声で答えています。製作で、折り紙でアイスクリームをつくり、お店屋さんごっこが始まると、他のクラスの子どもから「くださーい」と声がかかります。オープンスペースでの活動を通じて、日頃から異年齢児間の交流が自然に行われていることが伺えます。

プール遊びの時間では、水に顔をつけられるようになって、保育士から褒められて嬉しそうにしている姿も見られます。プールに面した高齢者デイサービスへは、定期的に子どもたちが訪問しているので、顔なじみのお年寄りが手を振ってくれています。室内での運動遊びの時間では、マットの上で逆立ちやでんぐり返しに何度も挑戦したり、子ども同士二人で棒に挟んだボールを協力しあいながら運んだりしています。全クラスで週1回、リトミックの時間があり、専門講師の弾くピアノの音楽にあわせて、思いっきり身体を動かして楽しんでいます。

多文化理解教育の一環として、外国人講師による英語遊びの時間があり、英語を楽しみながら文化

の違いがあることを子どもたちは学んでいます。また、いろいろな人々がさまざまな生活をしていることが分かるように、毎月異なった国の文化や生活（お金・名所・動物など）の写真掲示とともに、その国の伝統料理を給食献立に取り入れています。外国だけでなく、毎月、日本の県を一つ選び、その県の郷土料理も給食献立に取り入れ、子どもたちは、その国、その県を知る体験をしています。

朝夕の自由時間では、ブロック遊び、ままごと、絵本読みなど子どもたちは自分の好きなことに熱中し、保育士は子どもたちの様子を見ながら、遊び方をアドバイスしたり、別のおもちゃや用具などを出したりして、遊びを発展できるように支援しています。

2、職員は、一人一人の子どもと、ていねいに向き合い、個性を伸ばすよう関わっています。

「一人一人の個性をのばし、自分の気持ちを自由に表現できるようにする」との施設長の方針のもと、職員は、遊びや製作、食事などさまざまな場面で、子どもの言い分をていねいに聞き取ったり、態度やしぐさから子どもの気持ちを汲み取ったりして、一人一人に応じた対応をしています。また、保育のさまざまな場面の写真やビデオの映像を職員が揃って見て、文章や言葉だけでは伝わりにくい子どもたちの行動なども把握し、その時の子どもの気持ちや思いをどのように考えたら良いか、職員はどのように対応すべきかなどを、職員間で意見交換し、一人一人の子どもの個性をより深く理解することに役立っています。さらに、スタッフミーティングや週案ミーティングなど、あらゆる機会に、子ども一人一人の情報を全職員間で共有化するようにして、職員間の連携の良さにもつながっています。

◆ 今後期待される点

1、地域の子育て支援ニーズへの対応

園庭がない、マンション内の保育園であり地域との交流がしにくい、開園後日が浅いなどの理由で、育児相談、一時保育、園庭開放などの地域の子育て支援サービスは行われていないのが現状です。子育て支援へのニーズがあることは園としても把握し、すでにスタッフミーティングなどでどのようなことができるか検討していますので、できるところから始めることが期待されます。

2、人材育成の工夫

職員の資質向上のため、本社研修・園内研修、横浜市や横浜市北部地域療育センター、白峰学園保育センターなどが実施する研修会などの外部研修に職員が積極的に参加しています。しかし、これらの研修に非常勤職員が参加する機会はほとんどないので、必要な研修には非常勤職員も参加する機会をつくるなどの工夫が望まれます。

研修計画に基づき、上記のようなさまざまな研修に職員は参加していますが、総合的な人材育成計画を策定するには至っていません。どのような職員を期待し、組織としてどのように育成に取り組むのか、座学研修・現場実習（OJT）・自己啓発などを含めた能力開発をどのように進めるのかなどの総合的な人材育成の方針・計画を策定することが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・ポピンズナーサリースクールセンター南の理念を「エデュケア(*)プログラムの実践に基づき、一人ひとりの才能と個性を伸ばし、人間性豊かで創造性に富む人間を育成する」としています。理念に基づき、教育方針を「わたしたちは人生でもっとも重要な時期のお子さまたちに真の人間教育をいたします。1. 寛容な人間 2. 聡明で愛情深い人間 3. 独立心の旺盛な人間 4. インターナショナルな舞台上で活躍できる人間」と定めています。

(*)エデュケアとは、エデュケーション（教育）とケア（保育）を組み合わせた言葉です。理念に基づき、保育方針ではなく、教育方針としています。

- ・子どもの人格尊重については、業務マニュアルに記載しています。さらに職員の更衣室内に人格尊重の保育について記載したスタッフ心得を掲示して、全職員が日々この意識を持って保育にあたっています。
- ・子どもに対する言葉づかいは、ダメなどの禁止語や急かす言葉を使わず、優しく丁寧な言葉を使うように心がけています。
- ・運営法人で定めた個人情報管理規定があり、全職員は新人研修で個人情報の取り扱い方に関する説明を受け、機密保持誓約書を提出しています。また、ボランティア・実習生には、個人情報の取り扱いや守秘義務について説明しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・幼児の保育室内には、オープンスペースの中に、視線を遮りながらも違和感のない曲線で仕切った一角があり、子どもたちが落ち着いて遊ぶことのできる場所を作っています。絵本やおもちゃは、棚に整理して収納され、子どもたちが自由に取り出して遊べるようになっています。
- ・食事は全員がダイニングルームで摂り、午睡は各保育室で寝るなど、機能別の空間を確保しています。
- ・栄養士は給食時には毎日、各クラスのテーブルを回って子どもたちと言葉を交わしながら食事の様子を見ています。また、4、5歳児は自分で盛り付けするピュッフェ形式にしており、栄養士は手助けをしながら、子どもの様子を把握しています。
- ・週に1回、専門講師によるリトミックの時間を全クラスで取り入れ、歌やリズムを身体で表現する体験をしています。
- ・多文化理解教育の一環として、外国人講師による英語遊びの時間があり、英語を楽しみながら文化の違いがあることを子どもたちは学んでいます。
- ・天気の良い日には積極的に散歩に出かけ屋外で身体を動かして遊んでいます。自然を活かした設計の、19ヘクタールにも及ぶ広大な都筑中央公園が道路を挟んで隣接しており、園庭がないとはいえ、十分に自然に触れ合う環境が整っています。
- ・排泄には個人差があることを理解し、家庭での様子を聞きながらそれぞれの子どものリズムを尊重しています。トイレトレーニングについては、排泄の間隔やおむつの汚れ具合で時期を見極め、保護者と相談しながらあせらずに進めていきます。
- ・3～5歳児の子どもたちが、園と同じ建物内にある高齢者デイサービス施設や、近隣の高齢者施設を定期的に訪問し、ゲームなどをして、お年寄りとの交流を深めています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。保育課程は、園の教育方針や立地環境、保護者の就労状況などを考慮して作成し、保育所保育指針に示されている7領域のほか、多文化の理解および食育（食を営む力の基礎）の2領域を加えています。
- ・0～2歳児は、毎日、連絡帳（複写式）を用いて、活動内容以外にも子どもの様子（体温・食事など）を保護者に伝えています。3歳児以上は、自由記載の連絡ノートを用いて保護者との情報交換をしています。
- ・個別指導計画の重要部分は保護者に説明し、同意を得て作成しています。

- ・アレルギー疾患のある子どもへの代替食・除去食の提供は、トレイやエプロン（0～2歳児のみ）を他の子どもたちと色が違うものを使用したり、食べてはいけない食材名を記した札をトレイに立てたり、子どもが座る位置を必ず一定の場所にするなどの配慮をしています。さらに、調理室からトレイを受け渡しする際に栄養士と保育士が確認し、テーブルでの配膳の際に再度保育士同士で確認して、間違いのないようにしています。
- ・保護者懇談会や個人面談で、保護者からの要望や苦情を聞いています。また、保護者代表が参加している年2回の運営委員会でも意見を聞いています。さらに、年1回、運営法人が全保育園の保護者を対象に、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001に基づき、顧客満足度調査としてISO保護者アンケートを行っています。
- ・衛生管理、健康管理、安全管理などに関するマニュアルがあり、職員に周知しています。
- ・子どものケガは小さなものでも必ず保護者に口頭で伝え、アクシデントレポートに状況を記録しています。毎月、このレポートを元に職員間で分析を行い、常に反省点や今後の予防策を検討しています。
- ・散歩途中の不審者対応として、近隣のレストラン・ホームセンター・銀行・寺院など10ヶ所に、緊急時の避難場所とさせていただき依頼をし、園の散歩マップに記しています。

4、地域との交流・連携

- ・運営法人のホームページで、園の情報提供を行っています。
- ・見学者からの育児相談には、応じていますが、定期的な育児相談日を設けるまでには至っていません。マンション内の保育園であり地域との交流がしにくい・園庭がないなどの理由で、地域への子育て支援サービスが行われていない現状ですが、園として何が出来るかの検討を始めています。
- ・勤労感謝の日には、地元のスーパーに園児の絵を飾ってもらったり、ハロウィンには地域の商店にあらかじめお菓子を預け、子どもたちが来た時に渡してもらおうなどの交流をしています。
- ・横浜市立都筑図書館の利用や、横浜市中川西地区センターでの運動会開催など、地域の公共施設を利用しています。
- ・4、5歳児が横浜市立つづきの丘小学校に行き、1年生に学校案内をしてもらったり、一緒に給食を食べたりするなどの交流をしています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・本社全体会議の報告（会社の経営・運営状況、運営法人内他保育園の状況など）および園の経営・運営状況を、スタッフミーティングで職員に周知しています。また、情報公開ルールに基づき運営委員会に開示しているほか、保護者からの要請があれば開示しています。
- ・スタッフミーティング時に、施設長が理念、教育方針を説明しているほか、理念、教育方針およびスタッフの心得を職員は毎朝復唱しています。また、保育日誌に保育サービスチェックリストが記載されていて、職員は求められる保育姿勢と自己の姿勢の振り返りを毎日行っています。
- ・保育園の事業運営に係る情報は、横浜市や都筑区役所からのほか、本社全体会議などで得ています。また、社内ネットワークシステムを通じて、最新情報が配信される仕組みがあります。

6、職員の資質向上の促進

- ・毎年度初めに、職員は個人目標を設定し、施設長と面談しています。年度末に自己評価を行い、施設長と面談、達成度評価を受けています。
- ・「動画OJT支援システム」があり、職員は、保育の基本技術や子どもたちへの接し方などの画像を見て、意見交換し、より良い保育となるように努めています。
- ・日常の保育の様子を記録した映像を外部の大学教授などの専門家にてもらい、子どもたちの気持をどう汲み取るかなどのアドバイスを受けています。
- ・本社研修、園内研修、外部研修などに職員は積極的に参加していますが、これらの研修に非常勤職員が参加する機会はほとんどありません。必要な研修には非常勤職員も参加する機会をつくる工夫が望まれます。

分類別評価結果

- ※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。
- ※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある
- ※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|--|
| <p>I - 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> <p></p> <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ ポピンズナーサリースクールセンター南の理念を「エデュケア(*)プログラムの実践に基づき、一人ひとりの才能と個性を伸ばし、人間性豊かで創造性に富む人間を育成する」としています。理念に基づき、教育方針を「わたしたちは人生でもっとも重要な時期のお子さまたちに真の人間教育をいたします。1. 寛容な人間 2. 聡明で愛情深い人間 3. 独立心の旺盛な人間 4. インターナショナルな舞台で活躍できる人間」と定めています。 ・ (*)エデュケアとは、エデュケーション（教育）とケア（保育）を組み合わせた言葉です。理念に基づき、保育方針ではなく、教育方針としています。 ・ 施設の玄関に、企業理念・理念・教育方針を掲示し、保護者・職員に周知しています。また、職員は、入社後の導入研修および初任者研修において、理念や教育方針などの説明を受けています。 ・ 保育課程は、教育方針や園の立地環境、保護者の就労状況などを考慮して作成し、保育所保育指針に示されている7領域のほかに、多文化の理解および食育（食を営む力の基礎）の2領域を加えています。 ・ 年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。 ・ 指導計画は、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように作成しています。また、職員は、活動時の子どもの態度・表情から興味・関心を汲み取るよう留意しています。さらに、活動の様子を写真やビデオに撮影し、それを職員全員で見て意見交換を行い、指導計画の見直しに活かしています。 |

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園前に、保護者と施設長・担当職員（主任・保育士・看護師・栄養士）が面接しています。
- ・保護者との面接時には、必ず子どもを連れてきてもらい、子どもの様子を把握しています。
- ・事前に、保護者に子どもの生育歴や家庭での状況を記入・提出してもらい、保護者の育児方針や意向も把握した上で、面接を実施しています。また、入園前健診を受けてもらい、看護師が健康状況を確認しています。さらに、乳児の場合には、栄養士が離乳食の進み具合を細かく聞いています。
- ・面接時に把握した事項は面接シートなどに記録し、日々の保育に活かしています。また、親子の写真を撮らせてもらい、職員が名前と顔を早く覚えられるように工夫しています。
- ・ならし保育が必要な場合は、保護者の考え方・就労状況などを尊重し、個別に対応しています。
- ・0～2歳児は、毎日、連絡帳（複写式）を用いて、活動内容以外にも子どもの様子（体温・食事など）を保護者に伝えています。3歳児以上は、自由記載の連絡ノートを用い、必要に応じて記入しています。
- ・乳児クラスは、複数担任なので、なるべく1人は持ち上がりになるよう配慮しています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画の作成・評価・見直しを行っています。また、保育日誌に子どもの個人名記載で注意事項や配慮すべきことを記載し、指導計画の見直しに反映させています。
- ・乳児の場合には、離乳食の進め方など、保護者と綿密な連絡を行い、指導計画に反映させています。

I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・清掃場所ごとに担当者を決め、衛生チェックリストにより、常に清潔に保たれるようにしています。
- ・その日の外気温に応じて、空調温度をきめ細かく変更しています。また、季節により、扇風機や加湿器を使用しています。
- ・2歳児、3歳児、4・5歳児クラスの保育室の仕切りはなく、オープンスペースになっています。クラス活動の時間には、ダイニングルームやアトリエ（美術・製作室）などを適宜使用するようにしています。週案ミーティングの際にクラスリーダー間でどの時間帯にどの部屋を使うかなどを調整し、音楽や保育士の声などが他クラスの活動のさまたげにならないよう配慮しています。
- ・0歳児室に沐浴設備、トイレの一隅に温水シャワーを設置しています。
- ・沐浴設備、温水シャワーなどの清掃担当者を決め、常に清潔が保たれるようにしています。
- ・食事はダイニングルームで摂り、午睡は各保育室で寝るなど、機能的な空間を確保しています。
- ・朝のあいさつの時間は、全園児がダイニングルームに集まり、異年齢児間交流の場となっています。また、朝夕の長時間・延長保育の時は、異年齢児間で交流する時間としています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人一人の発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・ 0～2 歳児については、個別指導計画を作成しています。毎月末に評価・反省を行い、翌月の指導計画に反映させるとともに、施設長が確認しています。幼児についても、特別な課題や発達に気になるところがある場合には、年齢ごとの月間指導計画中に、特記事項として個別に配慮事項などを記載しています。
- ・ 個別の目標・計画の見直しは、月間指導計画の作成時に定期的に行っていますが、子どもの発達状況にあわせ、柔軟に変更・見直しを行っています。
- ・ 保育所児童保育要録を小学校に送付しています。
- ・ 子どもや家庭の個別の状況・要望などを決められた書式に記録し、個人別にファイリングして鍵のかかる場所に保管しています。
- ・ 入園後の子どもの成長発達記録は、年 4 期に分けて記録しています。0～2 歳児の保護者との連絡帳は複写式としているので、複写部分をファイリングし、成長発達を把握するために活用しています。
- ・ 当日の子どもの朝の様子は視診表に記入し、職員間で共有できるようにしています。
- ・ 重要な申し送り事項は、お客様資料にその都度記入し、進級時などに申し送りできるようにしています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。
- (4) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・ 各保育室やダイニングルームの仕切りは段差のない構造となっていて、バリアフリーに配慮しています。
- ・ 入園後、園で気づいた発達の気になる子どもについては、スタッフミーティングにて話し合い、月間指導計画中に特記事項として配慮すべきことなどを記録しています。
- ・ 保護者の同意を得て、必要に応じ、横浜市北部地域療育センターから助言や情報が得られる体制ができています。
- ・ 虐待の定義は、社内研修・園内研修などで全職員に周知しています。
- ・ 虐待が明白になった場合、虐待が疑わしい場合や見守りが必要な場合に、都筑区役所に通告したり相談したりする体制を整えています。
- ・ 虐待防止マニュアルを作成し、虐待が疑わしい子どもを見つけたら、視診を十分に行い不審なケガやアザの発見に努めるなどの留意事項を記載し、虐待の予防に配慮しています。
- ・ アレルギー対応マニュアルを作成し、全職員にアレルギー疾患について必要な知識や情報を周知しています。
- ・ 食物アレルギーの場合は、月末に、栄養士・担任・保護者で次月の献立内容について面談・確認を行い食事変更面談記録に記載、代替食・除去食を提供しています。
- ・ 代替食・除去食を提供する場合は、トレイやエプロン（0～2 歳児のみ）を他の子どもたちと色が違うものを使用しています。また、子どもの名前と食べてはいけない食材名を記した札をトレイに立て、子どもが座る位置を必ず一定の場所にするなど配慮しています。さらに、調理室からトレイを受け渡しする際に、栄養士と保育士が確認し、テーブルでの配膳の際に保育士同士で再確認して間違いのないようにしています。
- ・ 文化（言語・表現・食事）や生活習慣、考え方の違いを認め尊重し

| | |
|---|---|
| | <p>ています。宗教上の理由で食べてはいけない食材などのある子どもには、保護者と連絡を取り合いながら、代替食・除去食などを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界にはいろいろな人がさまざまな生活をしていることを伝えるため、毎月異なった国の文化や生活（お金・名所・動物など）を写真で掲示するとともに、その国の伝統料理を給食献立に取り入れています。また、多文化理解教育の一環として、週1回外国人講師による英語遊びの時間があり、英語を楽しみながら文化の違いを子どもたちが知ることができるようにしています。 |
| <p>I-6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。 (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの苦情解決の取り組みに関する実施要綱を定めるとともに、苦情解決の流れをフロー図に表し、園内に掲示しています。 ・要望・苦情の受付担当者は主任、苦情解決責任者は施設長であること、第三者委員2名の氏名・プロフィールをフロー図に記載しています。 ・第三者委員に直接苦情を申し立てることができるように連絡先等が記載されています。 ・外部の権利擁護機関や区役所などに、苦情解決窓口があることを保護者に掲示や文書などで伝えることが望まれます。 ・保護者懇談会や個人面談で、保護者の要望や苦情を聞いています。また、保護者代表が参加している年2回の運営委員会でも要望や苦情を聞いています。さらに、年1回、運営法人が全保育園の保護者を対象に、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001に基づき、顧客満足度調査としてISO保護者アンケートを行っていて、保護者は要望や苦情を記入することができます。 ・保護者からの要望・苦情があったときは、すぐにミーティングを開き、職員全員で解決策を話し合うようにしています。 ・毎月、スタッフミーティングで、要望や苦情の内容を、本社全体会議で得た他の施設での事例を含めて報告し、ケーススタディを行ったりして、今後の課題解決に活かしています。 |

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。 (2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。 (3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・絵本やおもちゃは、棚に整理して収納され、子どもたちが自由に取っ出して遊べるようになっています。 ・幼児の保育室内には、オープンスペースの中に、目線を遮りながらも違和感のない曲線で仕切った一角があり、子どもたちが落ち着いて遊ぶことのできる場所を作っています。 ・リトミックや運動遊びに力を入れ、子どもたちの成長に応じた動きの中で、友だちと遊ぶ楽しさを覚えながら、社会性を育むためのルールを身につけています。 ・メダカや昆虫の飼育をし、観察記録をつけたり、飼育の分からないことを散歩コースにあるホームセンターのメダカ飼育に詳しい店員に教えてもらいに行くなどの活動をしています。 |

取り入れられているか。

(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。

- ・ 散歩先では、地域の人たちや他の保育園の子どもたち、夏休み中の小学生などから声をかけてもらったり、マンションのエントランスでくつろぐ高齢の入居者と挨拶を交わすなど、地域の人たちと和やかな交流をしています。
- ・ 隣接する都筑中央公園内で、子どもたちはさまざまな樹木を、四季を通じて観察して楽しんでいます。
- ・ 3歳児以上は、お絵かき帳・クレヨン・絵の具セット・のり・ハサミなどの入った各自のお道具箱を持ち、自由に使えるようにしています。また、アトリエ（美術・製作室）には色別・サイズ別の画用紙や、古新聞などの工作材料が十分に準備されています。
- ・ 子ども同士のけんかについては、けんかで学ぶことも多くあると考え、すぐに職員が間に入ることはしていません。子どもが自分の言葉で解決できるように見守り、解決が難しい時に、お互いの気持ちを聞いて仲直りが出来るよう関わっています。
- ・ 少人数の保育園であるため、子どもたち全員に職員の目が公平に届き、子どもたちは保育士に十分に甘えて過ごし、信頼関係が築けています。
- ・ 天気の良い日には積極的に散歩に出かけ屋外で身体を動かして遊んでいます。自然を活かした設計の、19ヘクタールにも及ぶ広大な都筑中央公園が道路を挟んで隣接しており、十分に自然に触れ合う環境が整っています。
- ・ 年齢ごとの、発達に応じた運動遊びを毎月1つ決めて行う取り組みをしています。

Ⅱ - 1 保育内容[生活]



(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・ 乳児の授乳は、家庭での授乳時間を、朝、保護者から確認した上で、子どもの欲しがる時に抱いて声かけをしながらゆったりと行っています。また、離乳食については、時期や食材など、家庭との連携を密にとりながら進めています。
- ・ 食事は、子どもが食事の時間を楽しみながら、子どものペースで食べられるように援助しています。保育士が子どもの食事を急かしたり強制したりすることはありません。
- ・ 食育の一環として毎月、世界の国から1国、日本国内から1県を選び、その国の伝統料理とその県の郷土料理を給食献立に取り入れ、その国、その県を知る体験ができるようにしています。
- ・ 給食は、季節感のある献立を運営法人全体の食育チームでたて、調理は全て園の調理担当者が手作りで行っています。また、子どもたちは子どもの日の柏餅、七夕のゼリー、月見の団子など、季節の行事に合わせたクッキングも行っています。
- ・ 食材は、できるかぎり添加物の少ない国産のものを心がけた仕入れを行い、食器は、園オリジナルの陶器のものを使用しています。
- ・ 食器は年齢に合わせた大きさと形のものを用意しています。スプーン・箸・フォークも、子どもの発達に合わせて使い分けられるように用意しています。テーブルと椅子についても、子どもの成長に合わせて、数種類の高さや形のものを用い、正しい姿勢で食卓に向かえるように配慮しています。

- ・ 給食で子どもが良く食べていたメニュー、残食の多いメニューについてスタッフミーティングで話し合い、次の献立作成に反映させています。
- ・ 普通食、アレルギー対応食、離乳食、夕食、それぞれの献立を作り、あらかじめ保護者に配布しています。
- ・ 子どもの体調が悪い時には、その日の朝、食事内容変更届を保護者から受け、当日での変更にも柔軟に対応しています。さらに、保育時間中にあっても、子どもの体調を見て、必要に応じお粥や油ぬきの食事を提供しています。
- ・ 午睡の時間には、室内の照明調節や静かなBGMで、子どもたちが心地よい眠りを得られるように配慮しています。乳児には寝付くまでの間、抱いたりトントンしたりして、子どもが安心して眠れるように保育士が寄り添っています。
- ・ 排泄には個人差があることを理解し、家庭での様子を聞きながらそれぞれの子どものリズムを尊重しています。トイレトレーニングについては、排泄の間隔やおむつの汚れ具合で時期を見極め、保護者と相談しながらあせらずに進めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・ 運営法人の看護師チームが作成した子どもの健康管理に関する保健業務マニュアルがあり、このマニュアルに沿って子どもの健康状態を把握しています。
- ・ 食後の歯磨き指導は1歳から始めています。2歳児以上には、歯垢顕示薬での磨き残しチェックをしたり、虫歯の動画を見せたりして歯磨きの大切さを話しています。
- ・ 年に2回の健康診断と、年に1回の歯科健診を行い一人一人の記録があります。健康診断・歯科健診の結果は都度、保護者に伝え、子どもの健康に関する情報を共有しています。歯科健診の前には、事前調査票に、保護者から気になることを記入してもらい、医師からの答えを保護者に伝える丁寧な連携を持っています。
- ・ 感染症等への対応に関するマニュアルは、看護師チームが感染症予防マニュアルを作成しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・ 衛生管理に関するマニュアルがあり、運営法人全体の看護師チームが毎年見直しを行っています。見直しによる変更部分は、読み合わせやロールプレイを行い、マニュアル内容の共有と周知を図っています。
- ・ 園内はマニュアルに基づいた清掃が行われ、衛生チェック表で確認する仕組みがあり、清潔・適切な状態が保たれています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理に関するマニュアルがあります。
- ・地震などの災害に備えて、保育室内の棚は全て作りつけのものであり、加湿器のような高さの低い備品や、棚の上にある物についても転倒防止策をとっています。室内の整理整頓が行き届き安全な環境を整えています。
- ・毎月、避難訓練を実施し通報訓練や避難場所への誘導訓練も行っています。また年1回、全職員が救急救命講習を受けています。
- ・子どものケガは小さなものでも必ず保護者に口頭で伝え、アクシデントレポートに状況を記録しています。このレポートを元に毎月の会議で分析を行い、職員間で常に反省点や今後の予防策を検討しています。
- ・玄関入り口はオートロックで、モニターによる顔の確認をして解錠しています。
- ・民間の警備会社と契約し、緊急時には保育室内から通報できるシステムがあります。毎月の避難訓練時には通報ボタンのテストを行っています。
- ・散歩途中の不審者対応として、近隣のレストラン・ホームセンター・銀行・寺院など10ヶ所に、緊急時の避難場所とさせていただき依頼をし、園の散歩マップに記しています。

II-3 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・子どもに対する言葉づかいについては、ダメなどの禁止語や、急かす言葉を使わないなどを心がけ、優しく丁寧な言葉を使うよう徹底しています。
- ・保育の目が良く行き届く少人数の保育園であり、職員は常に職員同士の連携を取りながら子どもの小さなつぶやきや気持ちに寄り添う保育を行っています。
- ・保育室内に、視線を遮りながらも違和感のない曲線で仕切った一角があり、子どもたちがゆっくり静かに過ごせる場所となっています。
- ・運営法人で定めた個人情報管理規定があり、全職員は新人研修で個人情報の取り扱い方に関する説明を受けています。また、守秘義務についての説明も受け、機密保持誓約書を提出しています。ボランティア・実習生には、個人情報の取り扱い方や守秘義務について説明しています。
- ・子どもや保護者に対して、父親母親の固定的な役割に捉われた話し方をすることはありません。

II-4 保護者との交流・連携



- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園

- ・入園説明会や保護者懇談会、個人面談などの機会に保護者に対して保育の基本方針を伝えています。
- ・年1回、運営法人が全保育園の保護者を対象に、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001に基づき、顧客満足度調査としてISO保護者アンケートを実施しています。このアンケート結果及び、要望やクレームに対する返答は、保護者に伝えられています。
- ・0~2歳児は所定の様式の連絡帳で、3歳児以上は自由記載の連絡ノートで、毎日保護者との情報交換をしています。
- ・年に2回、保護者懇談会を実施し、クラスの様子を保護者に知らせています。

生活に関する情報を提供しているか。

(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

(6)保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・ 保護者からの相談内容によっては、応接室で他人の目を気にせずに相談を受けることが出来るように配慮しています。
- ・ 園からの情報は月1回、園だより「ポピンズニュースレター」を発行・配布しています。また、法人で発行している、給食に関する「ポピンズキッズミール」、健康に関する「ポピンズキッズヘルス」も併せて毎月配布しています。
- ・ 最近の日常の保育の様子を写真に撮り、玄関に掲示しています。この写真は登録会員限定のネット販売を利用することが出来ます。
- ・ 年度の始めに年間行事予定表を保護者に配布し、保護者が予定を立てやすいように配慮をしています。また、保護者に毎月提出してもらう次月の利用時間表にも、行事の日時を記載しています。
- ・ 現在、保護者会はありませんが、保育園の運営委員に保護者代表が1名選出され、年2回の運営委員会の場において保護者代表としての意見や要望を出してもらっています。この運営委員会の内容や、会議で出された意見や要望に対する園からの返答は、「ポピンズニュースレター」で伝えるとともに、具体的な実践で要望に応えています

評価領域Ⅲ 地域支援機能

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 園の運営委員に地域住民の方がメンバーとして選出されており、年2回の運営委員会において地域の子育て支援に関する要望を出してもらっています。・ 都筑区役所主催の「保育園広場」に、毎年参加し出前保育を行っています。・ マンション内の保育園であるため、地域との交流がしにくい条件であり、地域への子育て支援サービスを提供するまでには至っていません。こうした中で、園として具体的に何が出来るかを話し合い、前向きな検討を行っています。 |
| <p>Ⅲ－2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 運営法人のホームページで、園の情報提供を行っています。また、見学者からの育児相談にも応じています。・ 都筑区役所、横浜市北部地域療育センターとの日常的な連携をしています。・ 園からのお知らせを地域に発信したり、定期的に育児相談日を設けたりするまでには至っていません。 |

評価領域Ⅳ 開かれた運営

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|---|
| <p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4・5 歳児が、横浜市立つづきの丘小学校に行き、1 年生に学校案内をしてもらったり、一緒に給食を食べたりするなどの交流をしています。 ・ 勤労感謝の日には、地元のスーパーに園児の描いた絵を飾ってもらったり、ハロウィンには地域の商店にあらかじめお菓子を預け、子どもたちが来た時に渡してもらおうなどの交流をしています。 ・ 横浜市都筑図書館を子どもたちが訪れたり、横浜市中川西地区センターで園の運動会を行ったりするなど、地域の文化・レクリエーション施設などを利用しています。 ・ 保育園の立地条件もあり、保育園の行事に地域住民を招待したり、備品の貸し出し・施設開放を行うまでには至っていません。 ・ 3～5 歳児の子どもたちが、園と同じ建物内にある高齢者デイサービス施設や、近隣の高齢者施設を定期的に訪問し、ゲームなどをして、お年寄りとの交流を深めています。 |
| <p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市のホームページ「ヨコハマはぴねすぽっと」や、運営法人のホームページで、園のわかりやすい情報を提供しています。 ・ 見学希望者には、保育に支障のない範囲で、希望される日時に対応しています。なるべく園児の活動している時間を見てもらえるように勧めています。 |
| <p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア・実習生受け入れのためのマニュアルがあり、事前に園の方針と利用者への配慮についての説明を行っています。 ・ 毎月、ボランティアによる「おはなし会」を、各クラスで行っています。 ・ 実習生には、実習前の面接で実習目的を確認し、充実した実習となるようにプログラムを作成しています。 |

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|---|
| <p>V-1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年度初めに、職員は個人目標を設定し、施設長と面談しています。年度末に自己評価を行い、施設長と面談し、達成度評価を受けています。 ・ 本社研修・園内研修・外部研修などの計画は立てられていますが、現場実習（OJT）、自己啓発など含めた総合的な人材育成計画を策定するには至っていません。 ・ 本社研修のほか、園内研修として、ロールプレイや記録映像による事例研究を行い、必要な職員が受講しています。 ・ 横浜市や横浜市北部地域療育センター、白峰学園保育センターなどが実施する研修会など、外部研修に職員が積極的に参加しています。 ・ 外部研修に参加した職員は、報告書を作成し、スタッフミーティングで報告し、職員全員で保育に活かせるようにしています。 ・ 施設長は研修3ヶ月後に、どのように保育に活かされているかを評価しています。また、本社研修では、研修終了後受講者にアンケートを行い、研修内容の見直しに活かしています。 ・ 非常勤職員にも知ってもらいたい情報は、専用の連絡用紙を用いて回覧し、円滑なコミュニケーションが図られるように配慮しています。また、非常勤職員へのアンケートを行い、要望などを把握しています。 ・ 日々の保育の中で、必要に応じ、非常勤職員への指導を行っていますが、園内研修や外部研修などへ非常勤職員が参加する機会はほとんどなく、資質向上への取り組みは不十分です。また、非常勤職員には、業務マニュアルが共有ファイルとして事務室に備えてあることを伝えていますが、マニュアルの内容を説明することがほとんど無いので、内容をどのように周知するか工夫が望まれます。 |
| <p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。 (3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「動画OJT支援システム」があり、保育の基本技術や子どもたちへの接し方などの画像を見て、意見交換し、より良い保育となるように努めています。 ・ 日常の保育の様子を記録した映像を外部の大学教授などの専門家にてもらい、子どもたちの気持ちをどう汲み取るかなどのアドバイスを受けています。 ・ 月間指導計画、週案、個別指導計画、保育日誌は書式が定型化されていて、必ず、評価・反省を記載する欄を設けています。 ・ 記録映像を通じて、子どもの活動している姿を観察し、意欲、取り組む過程などを重視して振り返りを行っています。 ・ 振り返りによる評価・反省を行い、月間指導計画・週案の作成・見直しに反映させています。また、計画書は必ず施設長が目を通し、ねらいとの関連付けやこどもの意欲を重視しているかなどを確認し、必要に応じ指導を行っています。 ・ 保育士などの振り返りの結果をもとに、園としての課題を明らかにし、保育の質の向上に取り組んでいます。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・園としての自己評価を全体的に行うには至っていません。 |
| V-3 職員のモチベーション維持  (1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価システムの中で、能力や習熟度に応じた役割や行動能力が明文化されています。 ・スタッフミーティングなどの司会は、スタッフが担当し意見交換や提案などがしやすい環境づくりを心がけています。また、いつでも施設長や主任に改善提案したり、意見を言ったりできることが職員ヒアリングで確認されました。さらに、年1回、本社による職員へのアンケート調査があり、要望・意見を自由に記入することができます。 |

評価領域VI 経営管理

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|---|
| VI-1 経営における社会的責任  (1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・組織および職員が不正・不適切な行為を行わないよう倫理規程やコンプライアンスが明文化され、本社初任者研修などで職員に説明・周知しています。 ・本社全体会議の報告（会社の経営・運営状況、運営法人内他保育園の状況など）および園の経営・運営状況を、スタッフミーティングで職員に周知しています。また、情報公開ルールに基づき運営委員会に開示しているほか、保護者からの要請があれば開示しています。 ・不要な電灯をこまめに消したり、冷暖房温度を適温に調整したり、扇風機の使用により効率を高めるなど、省エネルギーに努めています。 ・3～5歳児の年間指導計画中に、「エコ活動に関心が持てるようにする」「エコ活動に自ら取り組もうとする」などのねらいを設定しています。 |
| VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等  (1)保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理念、教育方針を園の玄関に掲示し、保護者、職員に周知しています。 ・スタッフミーティング時に施設長が理念、教育方針を説明しているほか、理念、教育方針およびスタッフの心得を職員は毎朝復唱しています。また、保育日誌に、保育サービスチェックリストが記載されていて、職員は求められる保育姿勢と自己の姿勢を毎日ふり返っています。 ・重要な決定や変更があるときは、保護者代表が参加している運営委員会で検討・報告しています。また、施設長は、送迎時などにできるだけ保護者と意見交換するよう努めています。 ・主任は、保育日誌などで個々の職員の業務状況を把握するほか、できるだけ現場に出向き保育の様子を把握し、個々の職員の能力や経験にあわせ、的確な助言や指導を行っています。 |

VI-3 効率的な運営



(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

(2)保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・ 事業運営に関する情報は、横浜市や都筑区役所からのほか、本社全体会議などで得ています。また、社内ネットワークシステムを通じて、最新情報が配信される仕組みがあります。
- ・ 重要な情報を得た場合は、その都度リーダーミーティングを開き、対応を話し合っています。
- ・ 2010年（開園時）からの5年間の中長期計画を作成しています。
- ・ 社会福祉法人会計に詳しい税理士事務所のアドバイスを受け、適正な運営を行うよう努めています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2012年7月2日～7月17日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 70.0%（40枚配付、28枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…6人、1歳児クラス…9人、2歳児クラス…4人、3歳児クラス…3人、
4歳児クラス…4人、5歳児クラス…2人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

◆設問ごとの概要

- ・保育目標や保育方針については、75%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、そのうちの95%の保護者が「賛同できる」「まあ賛同できる」と回答しています。
- ・問2から問7では、ほとんどの設問ではほぼ90%以上の満足度となっています。特に“給食の献立内容”“子どもが給食をたのしんでいるか”“昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応されているか”“子どもの体調への気配り”“園日よりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供”“子どもが大切にされているか”の項目では、96%以上の満足度となっています。
- ・「不満」「どちらかといえば不満」が10%を超えるのは、“入園前の見学や説明など、園からの情報提供”“保育園での1日の過ごし方についての説明”“施設設備”の3項目です。「入園説明会では、設備や保育計画の説明がなく不安になった」「入園前の見学時、説明だけで資料をもらえなかった」、「熱がこもってムシムシしてしまう」「園庭がほしい」などの意見があります。園への要望では、「英語の先生の入れ替わりが多い。先生の不在期間が長い」という声などがありました。現在（2012年10月）は、先生の不在は解消しています。
- ・“見学の受け入れ”“年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか”“おむつはずしは、家庭と協力し、子どもの成長に合わせて柔軟にすすめているか”“アレルギーのある子どもや障害のある子どもへの配慮”の項目では、「新設だったので見学はなかった」「保育や行事などへの要望をきかれたことがない」「該当しないので分からない」などの理由で、「その他」の回答が多くなっています。
- ・保育園の総合的な満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて93%です。

◆まとめ

日常の保育について保護者は満足していて、「英語やリトミックなどがあり、とても良い」「いつも丁寧に働く親や子どものことを考えてくれている」などの声があります。一方、「午後戸外へ行き、外の空気に触れさせてほしい」「もう少し公園の遊具などで遊ぶ機会があると良い」「園内にアスレチック的な遊具もあると良い」などの声があり、保護者は、子どもが心身ともにバランス良く発達することを望んでいることが伺えます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間： 2012年 7月2日～7月17日

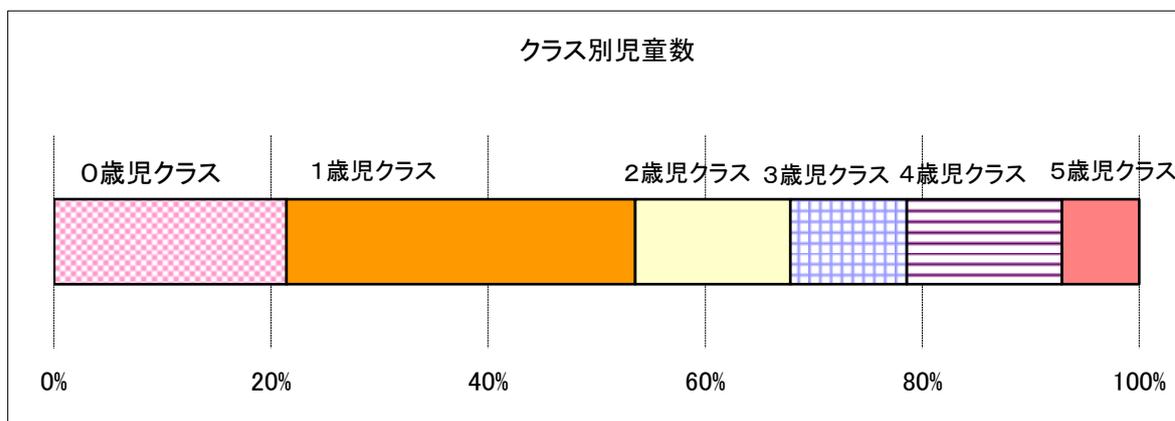
回収率： 70.0% （回収28枚／配布40枚）

【属性】

クラス別児童数 (人)

| 合計 | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 28 | 6 | 9 | 4 | 3 | 4 | 2 | 0 |

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入



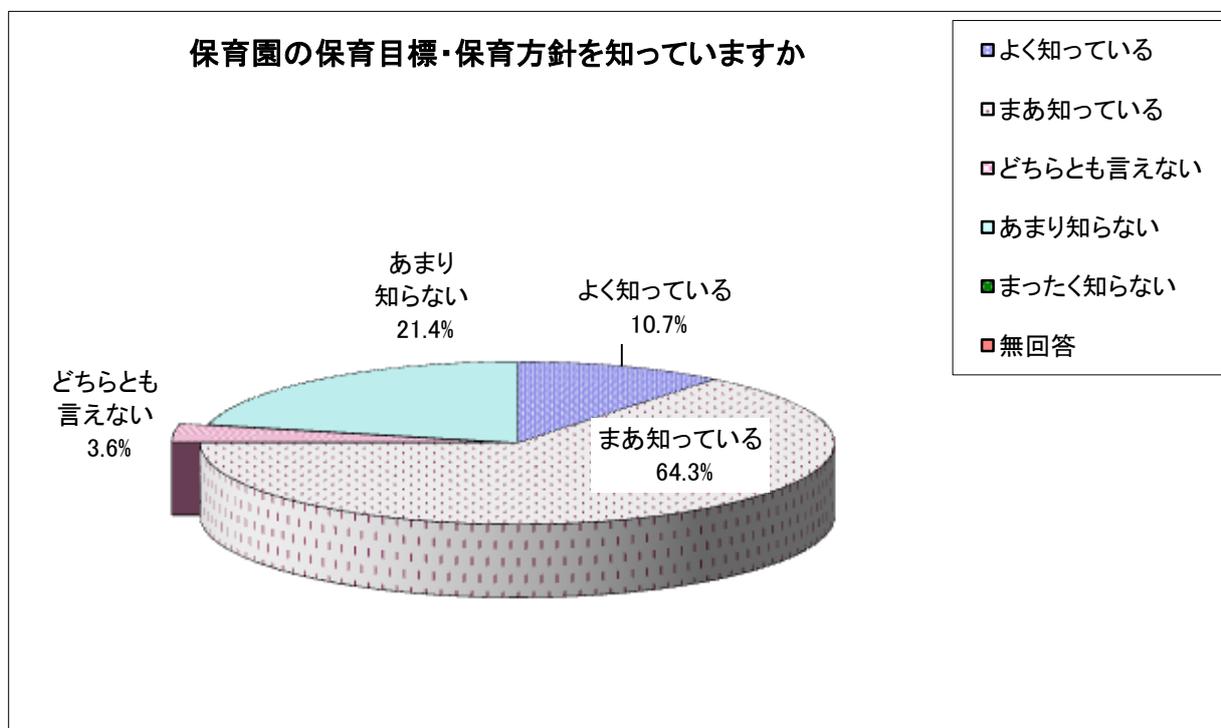
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1: | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計 |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 10.7 | 64.3 | 3.6 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

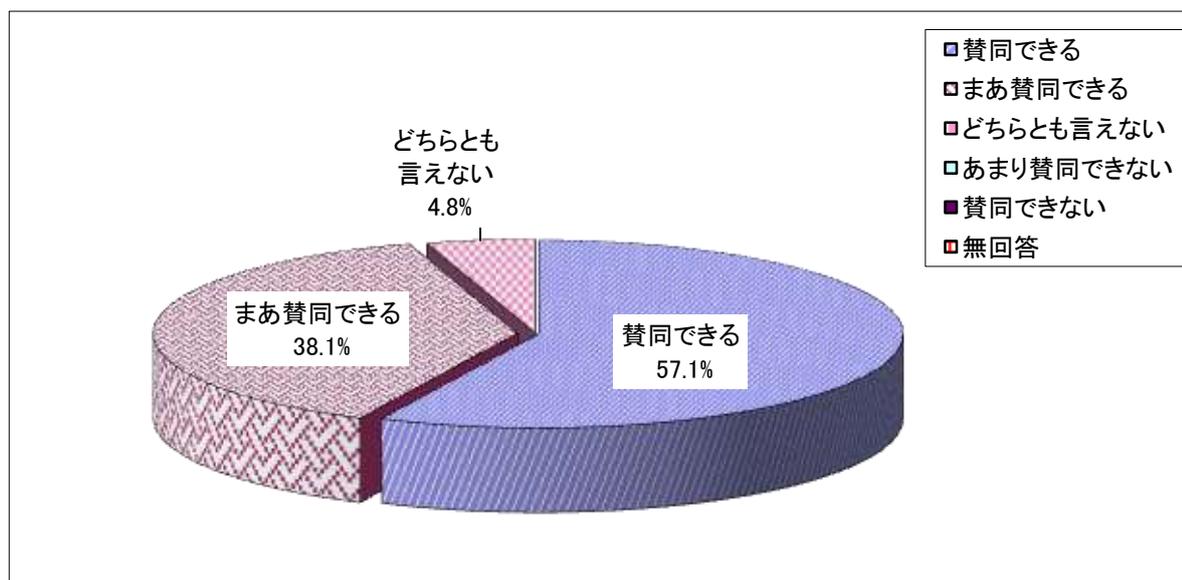


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1: | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 57.1 | 38.1 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |



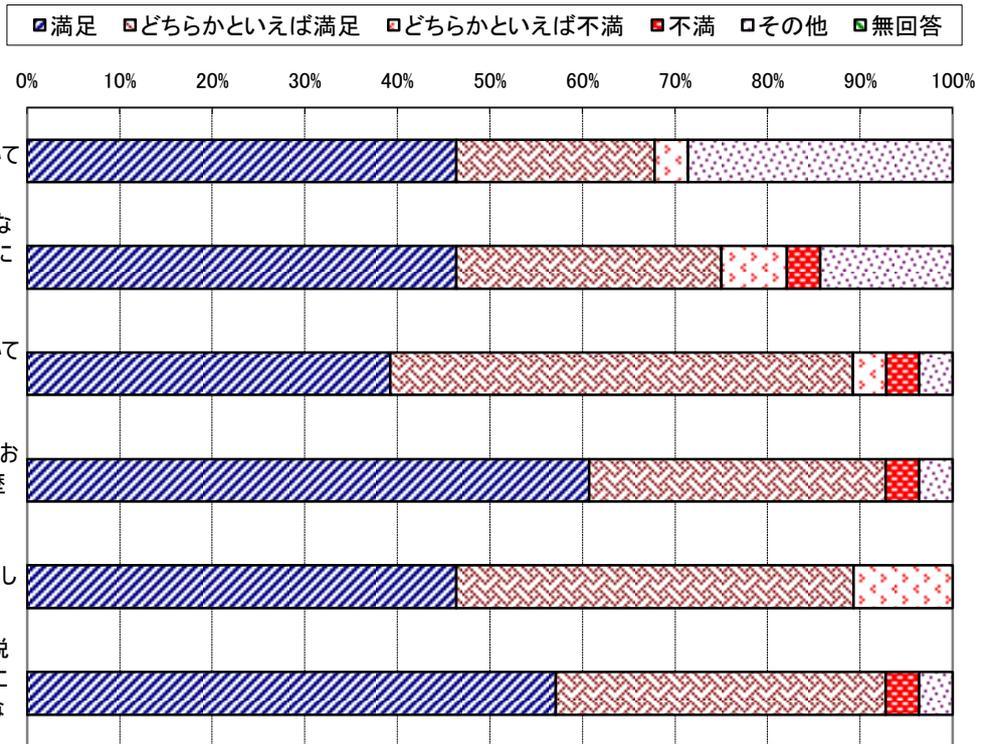
■ 保育園のサービス内容について

問2 入園時の状況について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 見学の受け入れについて | 46.4 | 21.4 | 3.6 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 46.4 | 28.6 | 7.1 | 3.6 | 14.3 | 0.0 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には | 39.3 | 50.0 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 60.7 | 32.1 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 46.4 | 42.9 | 10.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 57.1 | 35.7 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 100 |

入園時の状況について

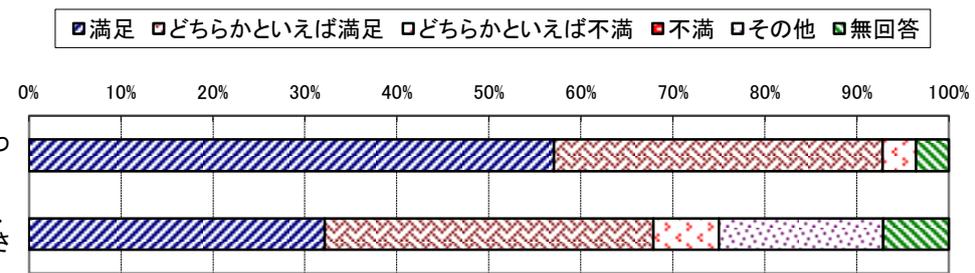


問3 年間の計画について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 57.1 | 35.7 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 32.1 | 35.7 | 7.1 | 0.0 | 17.9 | 7.1 | 100 |

年間の計画について



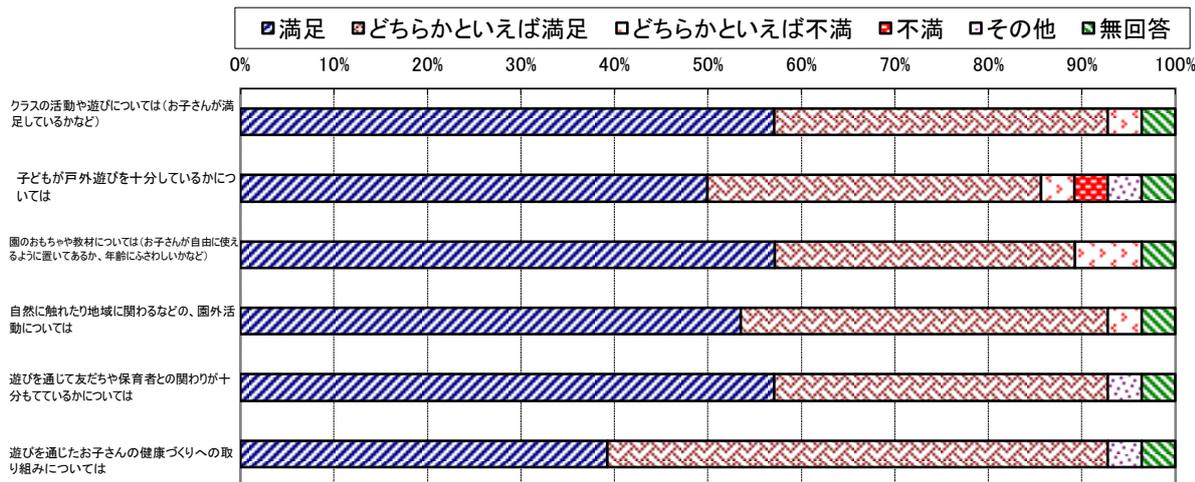
問4 日常の保育内容について

(%)

●「遊び」について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど) | 57.1 | 35.7 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 50.0 | 35.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 57.1 | 32.1 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 53.6 | 39.3 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては | 57.1 | 35.7 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 39.3 | 53.6 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |

日常の保育内容「遊び」について

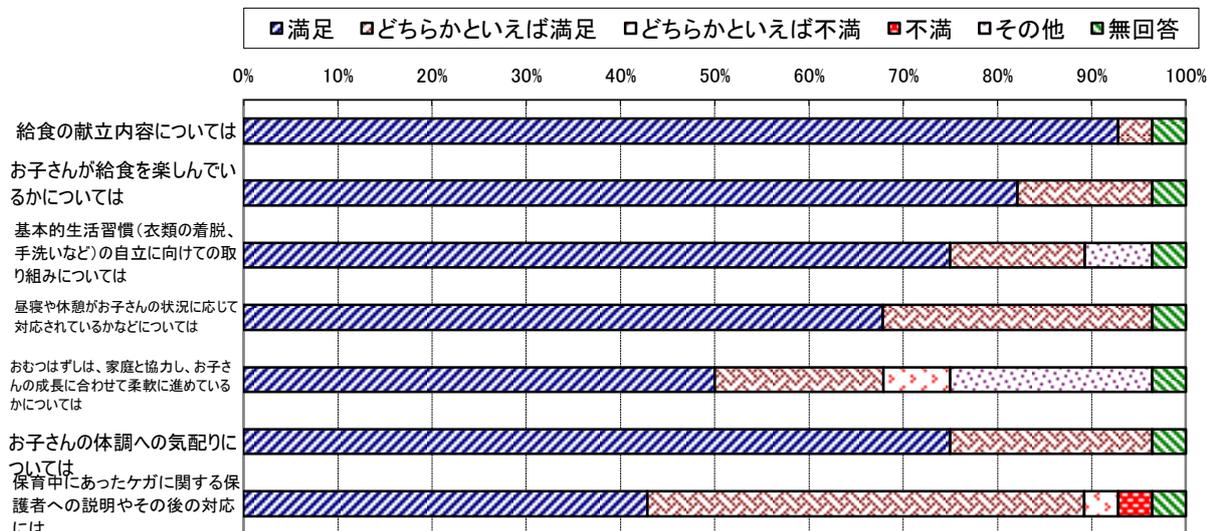


(%)

●「生活」について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 給食の献立内容については | 92.9 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 82.1 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては | 75.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 3.6 | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 67.9 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 50.0 | 17.9 | 7.1 | 0.0 | 21.4 | 3.6 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては | 75.0 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 42.9 | 46.4 | 3.6 | 3.6 | 0.0 | 3.6 | 100 |

日常の保育内容「生活」について

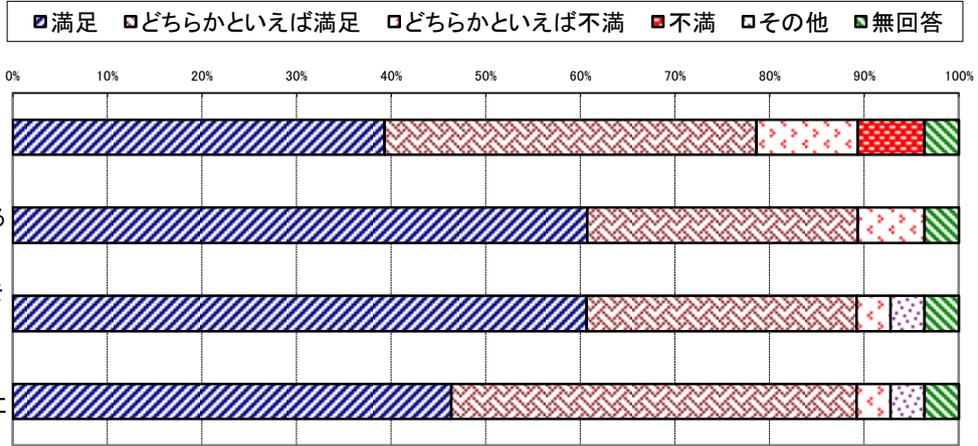


問5 快適さや安全対策などについて

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|-------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備については | 39.3 | 39.3 | 10.7 | 7.1 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 60.7 | 28.6 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 60.7 | 28.6 | 3.6 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 46.4 | 42.9 | 3.6 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |

快適さや安全対策などについて

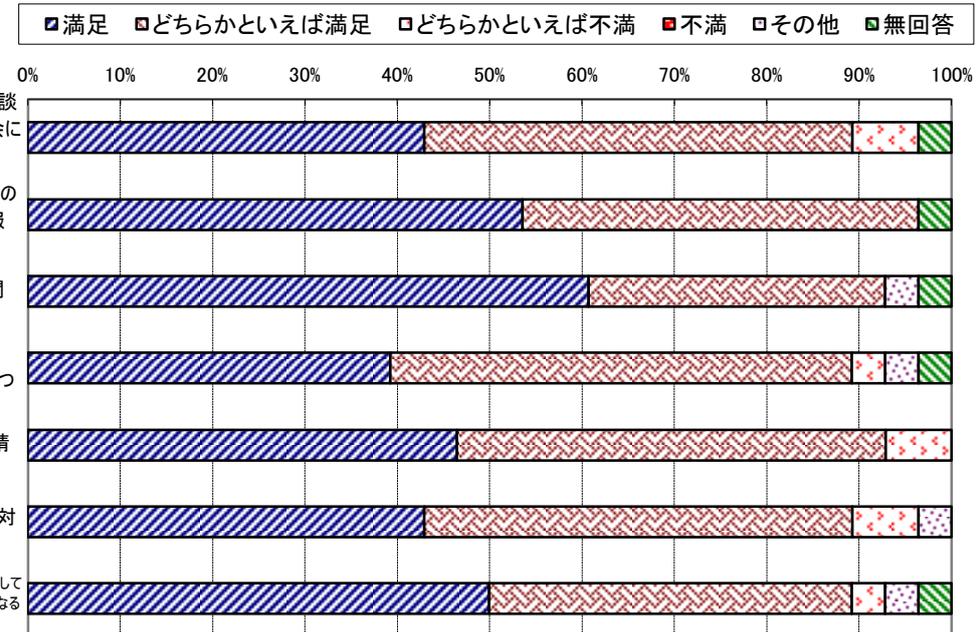


問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 42.9 | 46.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については | 53.6 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 60.7 | 32.1 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 39.3 | 50.0 | 3.6 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 46.4 | 46.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には | 42.9 | 46.4 | 7.1 | 0.0 | 3.6 | 0.0 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 50.0 | 39.3 | 3.6 | 0.0 | 3.6 | 3.6 | 100 |

園と保護者との連携・交流について

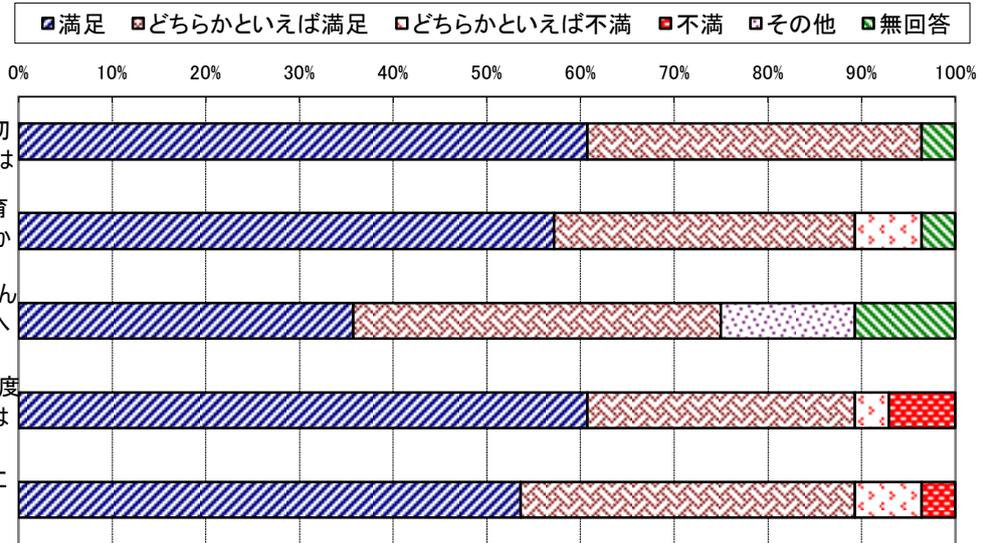


問7 職員の対応について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|------|------|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 60.7 | 35.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しまれているかについては | 57.1 | 32.1 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 35.7 | 39.3 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 10.7 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 60.7 | 28.6 | 3.6 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 意見や要望への対応については | 53.6 | 35.7 | 7.1 | 3.6 | 0.0 | 0.0 | 100 |

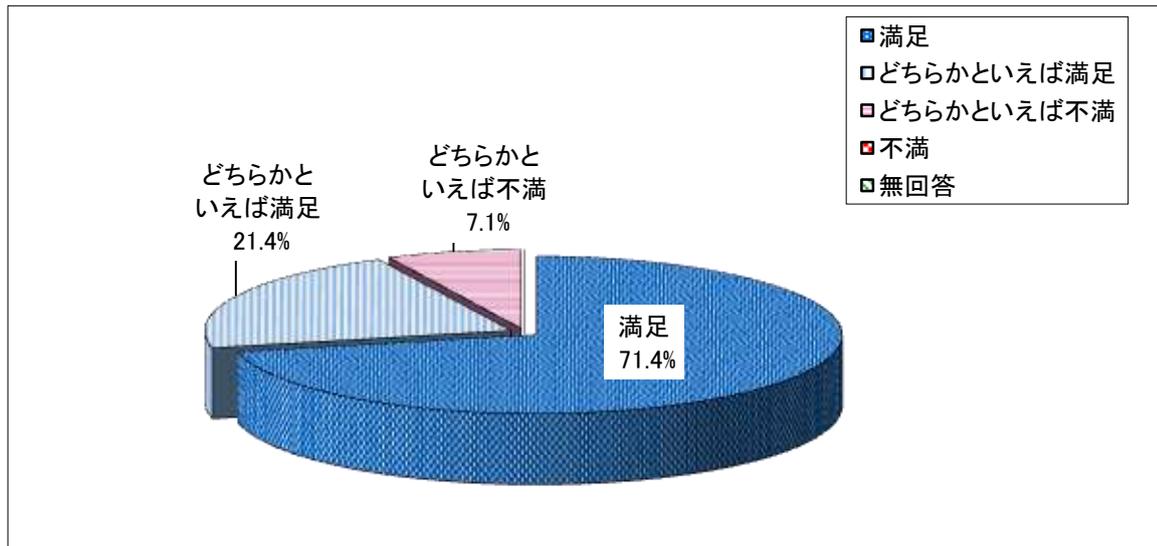
職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 | 計 |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 71.4 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |



利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①8月20日（月）9：05～17：00 ②8月23日（木）8：45～17：00

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆ 0歳児クラス

朝の時間、保育士に抱かれる子ども、保育士の背中にくっつく子ども、這い這いやずり這いをして室内を動く子どもたち、それぞれ機嫌よく元気に遊んでいます。まだ寝足りず、布団を敷いて寝かしつけてもらっている子どもたちもいます。

運動遊びが始まりました。運動用のマットの下にクッションを差し込んで「お山」を作り、這い這いで登ったり、保育士に手を引いてもらってよちよち歩きで登ったりします。子どもたちは日々の発達が著しく、出来ることが毎日増えていきます。また、子どもは出来たことを保育士にたくさんほめてもらい、保育士同士も子どもの成長を喜び合っています。

給食は、離乳食の段階ごとに分かれてダイニングルームで食卓につきます。離乳食中期の子どもたちはベビーチェアに座り、保育士からスプーンで食べさせてもらっています。「モグモグ」「おいしいね」と、声をかけてもらいながらみんなきれいに食べ終わりました。離乳食完了期の子どもたちは、肘かけと背もたれのついた椅子に座っています。保育士に手伝ってもらいながら、手づかみやスプーンを使い自分で食べ始めています。

◆ 1歳児クラス

保育室の正面は壁一面の窓になっています。広い窓から陽射しが充分に届き、明るい保育室です。窓は、外からは中が見えませんが、室内からは通りが良く見える工夫がしてあります。窓際で自動車の好きな子どもが、道路を走る自動車の種類や名前を話しています。

トイレトレーニングが始まっています。まだ全員おむつですが、トイレで便器に座る練習です。保育士が横で10数える間、便器に座ってみます。おむつは、保育士にはかせてもらいますが、ズボンにはきやすいように広げておかれたものを、一生懸命自分ではいています。一人で手を洗うことも練習しています。

保育室では、ブロックや人形、ままごと遊びのおもちゃなど、気に入ったおもちゃで一人遊びをそれぞれに楽しんでいました。寿司やピザのチラシをメニュー代わりにして、「どれにしますか」「これを下さい」と、保育士とごっこ遊びをする子どももいます。

◆ 2歳児クラス

今日は午前中、リトミックの後プール遊びでした。ほとんどの子どもたちが脱いだ服をたたんで水着に着替えることを、自分ですることが出来ます。一人では着替えにくい服を着ていた子どもは、保育士に手伝ってもらっています。準備が整い、一度建物の外に出て、プールのあるウッドデッキに向かいます。

子どもたちの大好きなプール遊びが始まりました。プールの中にあるいろいろな色と形のプラスチック製のピースを、コップやひしゃくですくって遊んだり、保育士の開いた足の間をくぐってトンネル遊びをしたりして楽しみました。今まで怖くて出来なかったことが一つずつ出来るようになり、ほめてもらっています。

シャワーを浴びた後は給食の時間です。食事の前には、美味しい食事を食べられることに感謝する英語の歌を歌っています。食事に時間のかかる子どもも保育士に助けられながらゆっくり食べ終わりました。遊び疲れて、食卓で眠ってしまう子どももいます。

◆ 3 歳児クラス

紙でアイスクリームを作ります。アトリエで保育士の周りに集まり、作り方と出来上がりを見て、子どもたちは手順を覚えます。折り紙とハサミを使ってコーンとアイスを作り、二つを合体すると、コーンに入った美味しそうなバナナやチョコレートのアイスクリームです。

それぞれにいくつかのアイスを仕上げ、フリースペースでアイス屋さんが始まります。友だち同士でエプロンと頭のバンダナを着け合いますが、バンダナも上手に結んでいます。保育士と一緒に、店員とお客に役割分担をして楽しいごっこ遊びです。身体の調子が悪くプール遊びに参加せずに隣のダイニングルームで静かに絵を描いていた 5 歳児クラスの子どもから、「アイスください」と声がかかると、アイスを持って行ってあげたりもしています。保育士からも「こっちに食べにおいで」と言われて、5 歳児が 3 歳児のクラスに遊びに来ました。

◆ 4,5 歳児クラス

ダイニングルームでマット・ボール・フープ・棒などを使い、運動遊びをします。マットの上で保育士に足を持って支えてもらい、逆立ちやでんぐり返しをしたり、子ども同士二人で気持ちを合わせてボールを棒で挟んで運んだりして遊びます。マットの周りに全員が座り、一人ずつ順番にします。今日の運動をしたくない子どももいますが、少し後ろで一緒に友だちの運動を見えています。途中、保育士から、もう一度「○○ちゃん、どうする？」と、声をかけられています。「やらない」と答え「じゃ、今度やろうね」と、保育士から言ってもらい、運動はしなくても友だちと一緒に楽しそうに過ごしていました。

友だちの運動をみんなで見、にぎやかに声を掛け合い順番に遊びますが、少し飽きてふざけ始める子どもたちには「お友だちがやるのを見るのも大事です。みんなに見てもらったら嬉しいでしょ。」と、保育士が話し聞かせました。子どもたちは聞きわけが良く、友だちとの遊びのルールを学んでいます。

◆ 2,3,4,5 歳児合同の散歩

今夏の厳しい暑さを考慮して、午前中の散歩を見合わせていますが、少し涼しい日は夕方に散歩に出かけています。

保育園を出て歩道橋を渡ると、自然の姿を活かした大変広い公園です。二人ずつ手をつなぎ、楽しくおしゃべりをしながら、小さな 2 歳児の速度に合わせてみんなと一緒に歩きます。まだ明るい夕方の空に、薄く白い三日月を見つけました。保育士や友だちと空や月や雲の話が広がります。

公園の遊歩道は、歩きなれた道のように。子どもたちが次々に大好きな生き物を見つけます。ミンミン蝉、アブラ蝉、蝉の幼虫、トンボ、トカゲ、バッタ、尺取り虫、ミミズ、アリ、カエルなどなど、一人が何かを見つけると、あちこちで数人ずつ集まってにぎやかです。急な斜面になっているところは、子どもたちの大好きなポイントで、年上の子はどんどん登って行きます。保育士が横について一人ずつの子どもに合った登れそうな高さや距離を教えています。何人かの子どもたちが斜面をすべり落ち、乾燥した土にまみれていますが、泣く子どもはいません。みんなで何度も挑戦することがとても嬉しそうでした。

年上の子は、年下の子が躊躇していることを手助けしたり励ましたりしています。

散歩途中、公園で運動をする地域の人や、知り合いの人たちと声を掛け合い、和やかな交流があります。

◆ まとめ

仕切りのない保育室での少人数保育は、子どもたち一人一人に目が行き渡り、気持ちの届く家庭的な姿勢で行われています。さらに、保育士は、子どもに対して禁止する言葉をできるかぎり使用せず、丁寧に穏やかに話すことを心がけています。この実践は、子どもたちの安心した笑顔に反映していると思われます。

【事業者コメント】

開園して3年目を向かえ、受審をするにあたって緊張感もありましたが、新しい目線で自分たちの保育を見ていただいたことは、スタッフ一同今までの保育を見なおす、そしてこれからの保育を考えるよいきっかけとなりました。

「スタッフ同士で話し合いをしたことは、自分では気づかなかったことも他のスタッフからの意見を聞くことによって考えることができ、良い機会となった。」というスタッフが多くいました。改めて、自分たちの保育園のこと・保育についてみんなで考えることができたのではないかと思います。

保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力いただき本当にありがとうございました。

皆さまのあたたかいお言葉をたくさんいただき、これからもお子様一人ひとりの声・保護者の皆さまの声を受け止めて、安心して過ごせるよう心がけていきたいと思っております。

ポピンズナーサリースクールセンター南

施設長 川上亜希子

スタッフ一同

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

- 市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

- 横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hyouka/>

- かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 第2事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL : 045-222-6501

FAX : 045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
